

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	遠藤 盛正（14）	<p>1. 公立中学校部活動の地域移行について</p> <p>中学校で2021年から完全実施されている、新学習指導要領の大きなポイントは「資質・能力の育成」です。これに関連して部活が大きな話題となっています。今年6月、スポーツ庁の運動部活動の地域移行に関する検討会議は、公立中学校の部活動を学校から地域に移行していくための対応策を提言にまとめ、室伏長官に提出しました。提言では、公立中学校の運動部の部活動について、来年度から2025年度までの3年間を目標に、まずは休日から段階的に地域や民間クラブなどへ移行していくとしています。そこで、運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言と部活動指導員の制度化についてスポーツ庁から示された内容を受け、富士市としてどのように取り組むのか。</p> <p>5年前にスポーツ庁が示した、ブラック部活に対する、部活動ガイドライン以降、富士市としてこれまでどのような取組をしてきたか、そしてどのような課題を把握しているのか、以下質問いたします。</p> <p>(1) 中学校部活動の改革について、これまで取り組んできた進捗状況と、現在9名の部活動指導員がいるが、これまでの活動についてどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 地域において、子供たちの受皿となるスポーツ団体等の整備・充実が必要だが、地域のスポーツ団体と中学校との連携はどのようにになっているのか。</p> <p>(3) 専門性や資質を有する指導者の量を確保する必要があるが、どのようにするのか。また、教師の中には専門的な知識や技量、指導経験があり、地域でのスポーツ指導を希望する者もいると思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 公共スポーツ施設やスポーツ団体・民間事業者等が有するスポーツ施設だけでは足りない地域も想定されるが、学校体育施設を利用する方策はどのように考えているのか。</p> <p>(5) 今後、地域のスポーツ団体等が中体連等大会の参加を希望した場合、現在学校単位に限定されている参加資格の変更は考えているのか。</p> <p>(6) 休日の大会参加の引率に負担を感じている教師もいるが、大会運営を教師が担っている実態をどのように考えているのか。</p> <p>(7) 地域のスポーツ団体に支払う会費が保護者にとって大きな負担になると予想されるが、経済的に困窮する家庭に対し会費の補助は考えているのか。</p> <p>(8) 地域移行後も安心してスポーツ活動に参加できるよう、怪我等に対する十分な補償については考えているのか。</p> <p>(9) 高校入試の際、部活動の活動歴や大会成績のみではなく、地域スポーツの活動からうかがえる生徒の個性や意欲、能力について、運動部、文化部ともに多面的に評価する考え</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	遠藤 盛正（14）	<p>はあるのか。</p> <p>(10) 中学校運動部活動の地域移行について、早急に検討委員会または協議会を立ち上げ、運動部活動改革を加速化すべきと思うがいかがか。</p>	<p>市 長 及 び 教 育 長 担 当 部 長</p>